

毎年、スズランの開花時期（5

月下旬から6月上旬）に合わせ

て、保全活動を紹介する観察会

と、専門家の指導のもと、外来

植物の駆除や牧草の抜き取りな

どを行う保全作業に取り組んで

います。観察会、保全作業ともに、

何度も参加される方が多く、「来

年も楽しみにしている」という

声をたくさんいただいています。

保全作業も今年で9年目を迎

え、少しずつ地域に根差したも

のになってきました。その結果、

スズランの数が増加しているだ

けでなく、さまざまな植物が楽

しめる魅力的な公園になってき

ています。

手稲区と専門家の方がサポートしてくるので、皆さん楽しく観察や手入れをしています。参加者も定着し、作業に毎回14、5人は顔を出してくれます。公園は町内のシンボルなので親しみの持てるものにしていきたいと思っています。



富丘丸山町内会会長
さいとう まさひろ
齊藤 政弘さん

保全作業

春から秋にかけて、専門家の指導のもと、地域の皆さんによるスズランの保全作業が行われています。



春

カモガヤの抜き取り除去

繁殖力の強い牧草のカモガヤはスズランの勢力を弱める恐れがあるため、スズランが芽を伸ばす前に抜き取っています。



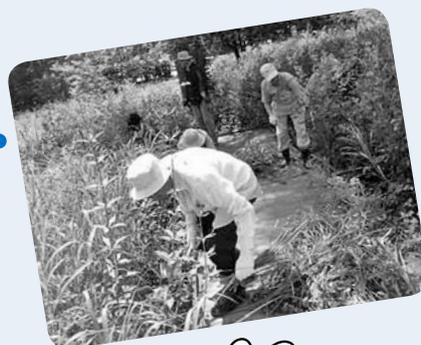
観察会の開催

スズラン開花の時期には、緑の専門家の案内で、園内を散策する観察会を開催しています。開催案内は手稲区版4ページへ。

秋

保全区域の大掃除

枯れ草の刈り取りと搬出を行っています。作業後はホカホカの焼イモを食べながら1年間を振り返ります。



夏

ススキの刈り取りなど

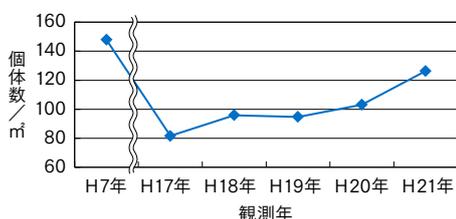
ススキの刈り取り、外来植物の抜き取りなどを保全活動の開始当初から根気よく行っています。

スズランが元気になってきています！

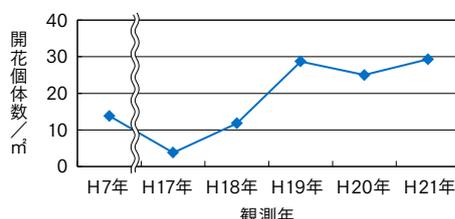
北海道大学農学研究院の調査によれば、スズランの勢力を弱めていた植物が年々衰退し、スズランの個体数は着実に回復してきています。



スズランの個体数の推移



スズランの開花個体数の推移



もともと皆でワイワイ作業することが好きなこともあり、お友達と3人で楽しみながら参加しています。

3年ほど前からスズランが増えてきているのが目に見えて分かるようになり、とてもうれしいです。



富丘丸山町内会
ごとう みよこ
後藤 美代子さん